

年月日

20
04
23

ページ

27

NO.

新時代の リスク対応

⑥

環境変化でストレス反応

が挙げられる。一時的に代表格は意欲、集中力、判断力などの低下が難しく、メンタルや自責感の増大など、不調のきっかけとして見過ごされやすい。

ストレス反応は酒量の増加・身だしなみに気をつかわなくなり、メンタル不調は個人まで発展する可能性がある。危険なのは、時だけの問題ではない。

ストレス反応は「身の管理監督者が行うラインケアである。セルフケア②部長・リーダーなどが部下の安心につながり、不調の発生予防や環境への早期リズムを意識する、時順応につなげることができる。またラインケアでは関係者間の連携も重要となる。上司が相談を受けた結果、対応の範疇を超えていたり、不調の原因から部下とのコミュニケーションを維持するも忘れてはならない。

3月から4月は異動や転勤、卒業や入学など、さまざまな環境の変化が起こる時期だ。例えば、勤務先における人事異動では①新たな仕事内容②新たな人間関係③新たな職場の三つの環境変化を挙げられる。

人間は複数の環境変化が同時に生じたとき、変化に適応しようとして睡眠障害・胃腸関連不調・頭痛・めまいと無意識のうちに通常以上のエネルギーを使

- ・免疫力低下・微熱感



SOMPO
ヘルスサポート
健康プロモート部
メディカル
サポートセンター
横森 聖

早期対応・連携が重要

組織にも影響を及ぼす。企業においては従業員の不調による生産性や創造性の低下、重大なミスの発生要因などとなる。人事面では休職者や離職者が増加

間が解決するとして放置することや、頑張りが足りないだけだと思

アでの対応がうまくできない。セルフケアでは口頭相談を受けた結果、対応の範疇を超えていたり、不調の原因から部下とのコミュニケーションを維持するも忘れてはならない。

から部下とのコミュニケーションを維持するも忘れてはならない。

（隔週木曜日に掲載）